

日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）のノーベル平和賞受賞にあたって

私たち広島県社会福祉士会は、人々の権利擁護と県民の社会福祉の増進を使命とするソーシャルワーカーによって構成された専門職団体です。人権擁護の観点から、2015年8月3日には「広島県社会福祉士会平和宣言」も発出しております。

この度の日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）のノーベル平和賞の受賞への祝意と、長きにわたる平和を希求する活動に深い敬意を表します。

ノルウェー・ノーベル委員会は、受賞理由を次のように表しています。

“for sin innsats for en atomvåpenfri verden og for å vitne om hvorfor atomvåpen aldri må brukes igjen”（核兵器のない世界に向けた努力と、核兵器が二度と使用されてはならない理由を証言したことに対して）

日本被団協は、核兵器廃絶に向けた活動の継続とともに、被爆者の基本的人権の保障を促進すべく国内外に情報発信されてきました。広島には、世界各地から多くの人々が平和について学びに訪れます。このことは、原爆被害の当事者の語りからしか学び取れない戦争の悲惨さと平和の尊さの価値の重要性を示しています。

広島県社会福祉士会には、原爆被爆者（原爆被害者）との出逢いによって多くを学び、その学びが今日の支援活動の重要な礎になっていると考える会員が多くいます。広島を拠点とする社会福祉士職能団体として、今回の受賞への喜びは非常に大きなものですが、今この時期に受賞されたという国際情勢を深刻に捉えて、これまで以上に権利擁護及び平和な社会づくりに向けた活動に取り組んでいきたいと考えています。

改めて、日本被団協の受賞、誠におめでとうございます。

2024年10月29日
公益社団法人 広島県社会福祉士会
会長 三上 和彦

【参照】

- (1) 日本原水爆被害者団体協議会ホームページ , <https://www.ne.jp/asahi/hidankyo/nihon/> (2024.10.19 確認)
- (2) ノルウェー・ノーベル委員会ホームページ, ノーベル平和賞, 2024, 日本原水爆被害者団体協議会 (Nihon Hidankyo), <https://www.nobelpeaceprize.org/prisvinnere/2024> (2024.10.19 確認)